

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成 19 年 10 月 4 日 (2007.10.4)

【公表番号】特表 2007-502844 (P2007-502844A)

【公表日】平成 19 年 2 月 15 日 (2007.2.15)

【年通号数】公開・登録公報 2007-006

【出願番号】特願 2006-524107 (P2006-524107)

【国際特許分類】

C 0 7 D 209/08 (2006.01)

C 0 7 D 403/12 (2006.01)

C 0 7 D 231/12 (2006.01)

C 0 7 D 235/08 (2006.01)

A 6 1 K 31/4184 (2006.01)

A 6 1 K 31/5377 (2006.01)

A 6 1 K 31/415 (2006.01)

A 6 1 P 43/00 (2006.01)

A 6 1 P 25/28 (2006.01)

A 6 1 P 3/10 (2006.01)

A 6 1 P 25/00 (2006.01)

A 6 1 P 17/00 (2006.01)

A 6 1 P 21/04 (2006.01)

A 6 1 P 37/02 (2006.01)

A 6 1 P 19/02 (2006.01)

A 6 1 P 29/00 (2006.01)

A 6 1 P 37/06 (2006.01)

A 6 1 P 11/06 (2006.01)

A 6 1 P 37/08 (2006.01)

【F I】

C 0 7 D 209/08 C S P

C 0 7 D 403/12

C 0 7 D 231/12 D

C 0 7 D 235/08

A 6 1 K 31/4184

A 6 1 K 31/5377

A 6 1 K 31/415

A 6 1 P 43/00 1 1 1

A 6 1 P 25/28

A 6 1 P 3/10

A 6 1 P 25/00

A 6 1 P 17/00

A 6 1 P 21/04

A 6 1 P 37/02

A 6 1 P 19/02

A 6 1 P 29/00 1 0 1

A 6 1 P 37/06

A 6 1 P 11/06

A 6 1 P 37/08

【手続補正書】

【提出日】平成19年8月16日(2007.8.16)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

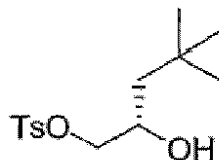
【補正対象項目名】0147

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0147】

【化21】



工程A：(S)-2-ヒドロキシ-4,4-ジメチルペンタン酸(2.13 g、14.6 mmol)をテトラヒドロフラン(50 mL)に溶解し、氷浴温度に冷却した。THF中の BH_3 の1 M溶液(29.2 mL、29.2 mmol)を～3分にわたりシリンジを介して添加した。添加終了後、冷却浴を除去し、反応混合物を室温で4時間撹拌した。 NaOH の1 M溶液(100 mL)を添加し、反応物を一晩撹拌する。反応物を分液漏斗に移し、水性層を3回酢酸エチルで抽出した。合わせた有機物を MgSO_4 で乾燥させ、溶媒を除去した。得られた油状物を、0-100%酢酸エチルのヘキサン溶液を使用したシリカゲルクロマトグラフィーで精製し、1.63 g(85%)のジオールを油状物として得た。この物質の全て(12.4 mmol)を CH_2Cl_2 に溶解し、ピリジン(1.96 g、24.6 mmol)で処理し、氷浴温度に冷却した。混合物を次いでp-トルエンスルホンクロライド(2.60 g、13.6 mmol)で処理し、温度を環境温度に上げながら一晩撹拌した。反応物を次いで分液漏斗に入れ、3回 CH_2Cl_2 で抽出した。合わせた有機物を MgSO_4 で乾燥させ、溶媒を除去した。得られた油状物を、注意深く、0から100%酢酸エチルのヘキサン溶液の勾配を使用したシリカゲルで精製し、1.5 g(42%)の(S)-トルエン-4-スルホン酸2-ヒドロキシ-4,4-ジメチル-ペンチルエステルを得た；HPLC-MS、 $\text{C}_{14}\text{H}_{22}\text{O}_4$ S($\text{M} + \text{H}^+$)の計算値286.1、実測値286.4。